

ふいし  
干瀬節  
(二揚げ)

ななゆみとはてんよ

かしか う  
緞掛きてい置ちゆてい

さとう ばに  
里があけじ羽よ

うしゆ  
御衣ゆすいらに

大変上等のかせをかけて

愛しい人のために

かげろうの羽のような

極上の着物をつくってあげたいのです

かしかき  
舞踊「緞掛」の一節

日常の仕事である布織に愛する人への激しい思いを秘める女性の心情を表しています。

干瀬節 (二擧げ) 七 = 七# 歌: 下老 四 中 工 五 七 八

四 中 工 五 七 四 中 工 五

なな ゆ う う み い い しいい いとぅ

四 四 中 工 中 五 七 工 五 工 上 四 四 上 工

う う うは あ あ ああて え え ん ん よ

四 四 四 中 工 四 四 中 工 中 五 七 工 老

か あ しいい い か あ あ あ あ ああき

五 工 上 四 四 中 工 五 五 中 五 七 五

てい しいい う ちゅう てい さとぅ が あ あ

七 五 七 八 五 工 四 四 中 工 中 五 七 工

あ ああ あ あああ あけ え え え え えじ しいい

五 工 上 四 四 上 工 四 四 中 工

あ あ に しいい よ ん ん しゅう う

四 四 中 工 中 五 七 工 老 五 工 上 四

う ゆ う う う う う すい しい ら あ あ に

戻る

ななゆみとはてんよ総掛きてい置ちめてい 里があけじ羽よ御衣ゆすいらに